

# warp

MAGAZINE JAPAN  
MORE FUN, MORE LOVE

# 3

COVER STORY  
**Suchmos**  
**YONCE**

#2316 2017 www.warpweb.jp 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 丸の内ビルディング 680 yen [定価]

WORLDPWIDE  
ROOM&PEOPLE SNAP

COME OVER  
**HOME**

みんな、どんな**部屋**で過ごしてる？



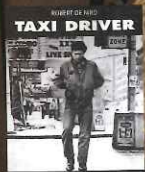
映画を観るような、  
生活するのが楽しいインテリア。

## 生活を楽しくする なにかしらを見つける

インテリアスタイリスト遠藤慎也も考える、  
"ひとが生きることを楽しむためのもの"としてのインテリア。  
あの人からあの映画からあのショップから、  
自分のイメージを起こして生活に役立ててみてはいかがだろうか。

A

NYC Style



「タクシードライバー」  
(1976年 アメリカ)

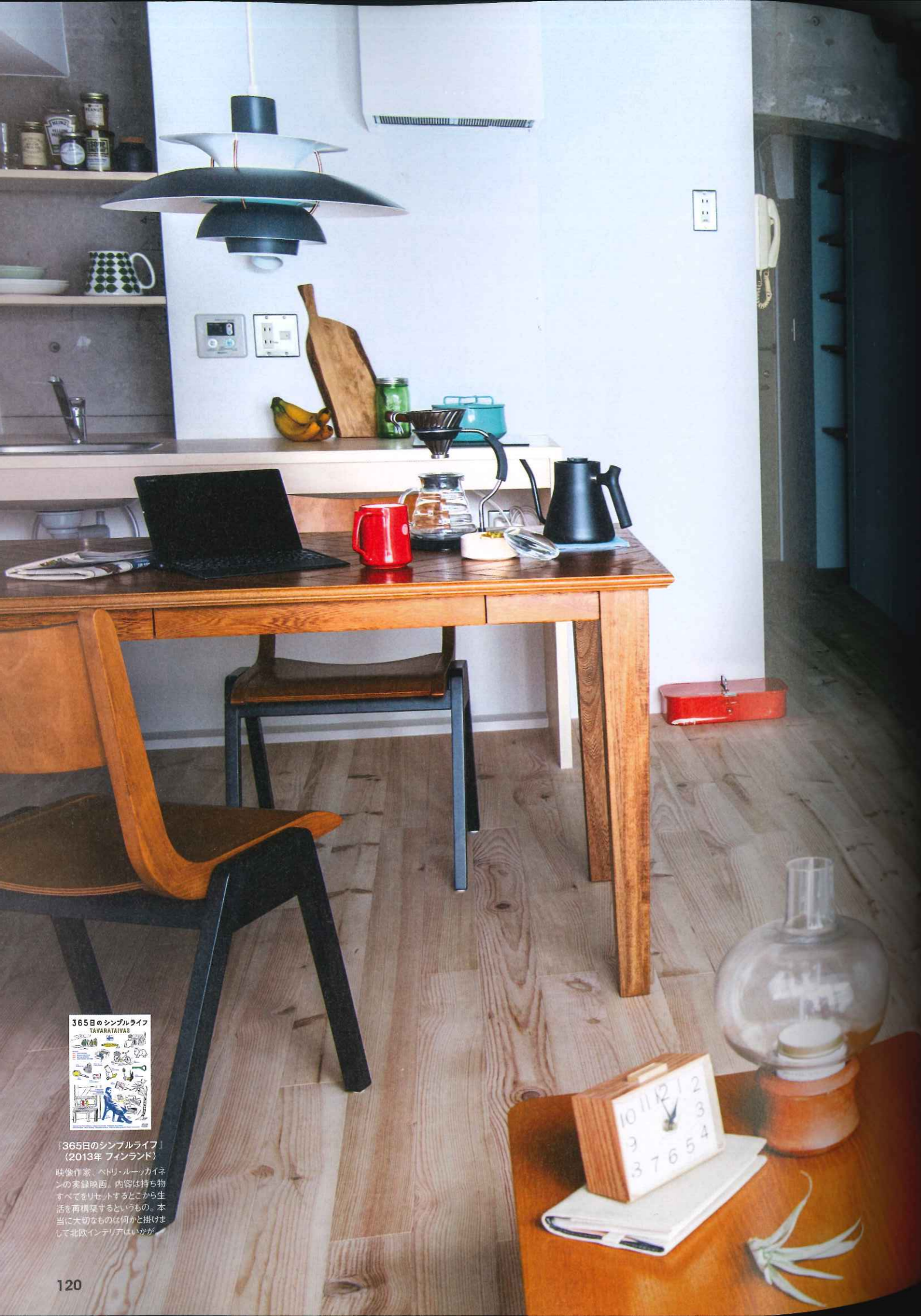
マーティン・スコセッシ監督。大都会ニューヨークに沈黙する怒りや孤独感を、ひとりの男の暮らしを主軸に描く。ミニマムなベッド周りなど独身男の生活サンプルがよく窺える。

## 眠らないアーバンシティの隠れ家的なオトコ部屋

いらだち、孤独を感じ、不安を押し殺す。外ではなかなか見せない男の素顔。ミステリアスなのが魅力なんて誰が言った？ 日々の葛藤に折り合いをつけながら、しっかりと男らしくいようとするハードボイルドな断片。

**独** 身でストイック、都会暮らしの35歳。元ネタとなった劇中、主人公のトラヴィスの職業は元海兵隊で不眠症のタクシードライバー。彼を演じた、ある種の強さ(偏屈っぽさ)を放ち続けているロバート・デニロにシンクロさせて、部屋にはメタルなものと使い込まれたヴィンテージなものを混ぜ入れている。それはどこか都会の隠れ家のような雰囲気もある。クリエイター系のジョブではなく、疲れて帰宅したらひたすら横に(楽に)なる部屋。ただ不眠気味で孤独な男の部屋。それを引き立たせるのはドライフラワーや乾いたオブジェと、多投使いによって陰影を濃くする照明たち。「人生を上手に楽しむことができない男たちに、それでもどこか救いをと、ノスタルジックなテレビを置いた」(スタイリスト遠藤)。そして、テレビと正眼するいい風合いのひとり掛けソファは、スタイリスト本人がいたく気に入っているという。かくして、この部屋の主人はたいがい偏屈顔で眺めているのであろうが、ソファに腰を沈めている時間はきっと心地よかったりもするのだろう。





365日のシンプルライフ  
(2013年 フィンランド)

映像作家、ペトリ・ルーソカイネンの実録映画。内容は持ち物すべてをリセットするところから生活を再構築するというもの。本当に大切なものは何かと掲げまして北欧インテリアのかが



## 光とインテリアと楽しく暮らせるひとり部屋

人は失ってから気づく。だったら、最初からなるべく失うものがない生活にしたらどうだろう。そしたらもっと大切なことがわかってきた。意味のあるものなんてとても少なくなくて、自分で意味を見つけることがポイントなんだと。

**作**品の指針になっている"生活に必要なものは100コ"を念頭に置きながら、生活を楽しむためにそれ以外の100コを足して部屋を作ることにした(スタイリスト遠藤)。主は、30代前半の男性でひとり暮らし。インテリア以上にしなやかな所作が素敵だったステディと別れて数カ月ということにしておこう。映画の主人公にとってソファのプライオリティはそんなに高くはなかったが、遠藤流の楽しい生活にソファは欠かせない。はたして、スタンダードAと呼ばれるシンプルで素敵なソファを起点にして、キャンドルホルダー、マガジンラックといった楽しいものたちが集められていった。これに、ペンダントライトのソフトな光とウッディなもの以外はオレンジとブルーの色使いでまとめる。するとどうだろう。シンプルで実用的でありながら楽しいという部屋になる。これはシンプルライフというのは、なにもソリッドに削ぎ落とすのではなく、実用的なものを主役にしながらしなやかに楽しいものがたくさんあってもアリなんだよってことを暗に教えてくれるのではないだろうか。

# B

Nordic Style





- 01 LYONの5タイアローカー 4万3000円 (PACIFIC FURNITURE SERVICE)
- 02 ミルクキャップマグネット 各500円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 03 ヴィンテージハンガー 2000円 (NOTEWORKS)
- 04 Herbie Plant Studiesのアート 1万円 (COMPLEX)
- 05 HUMBLE CRAMICSのゴッドイヤー 4万8000円 (COMPLEX)
- 06 NOTEWORKSのインディゴスタックスフレーム 2万円 (NOTEWORKS)
- 07 PUEBCOのエマーゼンシーカンキャンドル 800円 (PUEBCO)
- 08 PUEBCOのプロウガラスジャー 6000円 (PUEBCO)
- 09 COMPLEXのドリフトウッドバーウエイト 8000円 (COMPLEX)
- 10 NOTEWORKSのボックス 3000円 (NOTEWORKS)
- 11 ヴィンテージデスクランプ 8000円 (Couscous Furniture)
- 12 PUEBCOのキャストアイアンレール 2000円 (PUEBCO)
- 13 NOTEWORKSのハローアイディア 9000円 (NOTEWORKS)
- 14 ヴィンテージライティングドロワー 4万9000円 (Couscous Furniture)
- 15 Friso Kramerのドラフティングチェア 4万8000円 (Couscous Furniture)

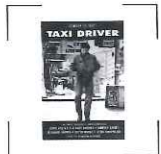
- 16 COMPLEXのタブレットソファ 11万4000円 (COMPLEX)
- 17 STAFFのペンダントランプ 1万7500円 (Couscous Furniture)
- 18 ブループリントポスター 3500円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 19 Journal standard Furnitureのボアクッション 5800円 (Journal standard Furniture 渋谷店)
- 20 PACIFIC FURNITURE SERVICEのクッション 8000円 (PACIFIC FURNITURE SERVICE)
- 21 PACIFIC FURNITURE SERVICEのブランケット 3万7000円 (PACIFIC FURNITURE SERVICE)
- 22 PUEBCOのナップベンチ 4万円 (PUEBCO)
- 23 ACME Furnitureのウォッシュアップスリッパ 3700円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 24 ACME Furnitureのヒースラグ 3400円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 25 クリップランプ 2万5000円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 26 ヴィンテージアップルクレート 9000円 (The Tastemakers & Co.)

- 27 ヴィンテージオブジェ 8000円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 28 ノーブランドのオオカミバーウエイト 3900円 (Couscous Furniture)
- 29 ヴィンテージジョブサイン 2万8000円 (Couscous Furniture)
- 30 PUEBCOのグロサリーバッグ (9L) 1000円 (PUEBCO)
- 31 PUEBCOのスクールスタートレー 1200円 (PUEBCO)
- 32 ヴィンテージ電話機 2万円 (NOTEWORKS)
- 33 TAILERのマグネットフック 2600円 (NOTEWORKS)
- 34 ヴィンテージバレットチューブ 9200円 (PUEBCO)
- 35 Journal standard Furnitureのアレンステールシェルフ 6300円 (Journal standard Furniture 渋谷店)
- 36 ヴィンテージマグカップ 4000円 (NOTEWORKS)
- 37 ヴィンテージアッシュトレイ 2000円 (NOTEWORKS)
- 38 COMPLEXのツリーオンツリー 6万8000円 (COMPLEX) その他スタイリスト私物

- 11 HAYのレンズベース 6000円、蓋 6000円 (ともにSEMPRE HONTEN)
- 12 プアーオーバークトル ウィズ サーマーター 1万4000円 (The Tastemakers & Co.)
- 13 ACME Furnitureのフーナーダイニングテーブル 13万円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 14 クロック 6000円 (NOTEWORKS)
- 15 ACME Furnitureのキャンドルホルダー 1万2000円 (ACME Furniture 渋谷店)
- 16 PACIFIC FURNITURE SERVICEのDHティーテーブル ウィズ シェルフ 6万円 (PACIFIC FURNITURE SERVICE)
- 17 NOTEWORKSのマガジンラック 1万円 (NOTEWORKS)
- 18 PACIFIC FURNITURE SERVICEのスタンダードソファ 18万8000円 (PACIFIC FURNITURE SERVICE)
- 19 ACME Furnitureのクッションカバー 3700円 (ACME Furniture 渋谷店) その他スタイリスト私物

# A — NYC Style

## タクシードライバー ニューヨークスタイル



木を最初に曲げたのも、日本と最初に国交を結んだのもオランダ人。アメリカと違って間取りが日本に近いのか、小さいサイズの家具が多く、デザインもシックだ。そんなオランダ製のデスクとランプで長い夜を過ごす



ひとりでギリギリサイズの折りたたみベッド、というカッパペンも、実際に考えるならアウトドアや来客用。存在感はあるが場所を取らないので、眠りよりも大事なものが他に多いオトコにはこんな寝床もいらないかも



ライトがあるように、部屋にも核となる存在がある。"スタンダード"なソファは、座面が少し高いのでリラックスした姿勢でも、横付きのセンターテーブルで机もすっきり



とにかく多用されがちな"シンプル"という言葉。その4文字にはデザインを超えた機能的な魅力が見え隠れする。4つの引き出しがあるダイニングテーブルなら、PCや書物をさっとしまて食事できるのでデスクと兼用で



# B — Nordic Style

## 「365日のシンプルライフ」 北欧スタイル



上段が引き出せる使い勝手のいいスチール棚は、洋服や小物用に。照明になっているヴィンテージの看板はオランダのカーテン屋のもの。シンプルな家具と遊びのあるオブジェを合わせると、部屋にムードが生まれる



サイズは極小小さく、でもボリューム感のあるソファと、楕の芯材を使ったサイドテーブル。楕は防虫、防臭効果があるのであえて塗装はなし。ひとり掛けソファにしかない魅力を知ってしまうと、もうそこから離れられない



1901年、それまで木製であった家具をスチールで製作しようとしたのが「LYON」社。アメリカの学校や公共施設にあるこの定番ローカー。見た目でもドラマティックだ。適当に好きなものを入れてことごとくアクセント



コーヒーが淹れられるアームスタンドセット、温度計が付いたマグカップは、老舗ブランドのマグカップに、お菓子を入れるのちょっと可愛ければ、これが必要最低限かつ良いものだとはわかってほしい



椅子ほど人によって合う合わないがある家具はない。体型、座り方、質感、自分のこれまでと、生活と、見合うものかどうか。どこか懐かしい曲線美を持つスタッキングチェアは、気に入ったら何脚も買って重ねて欲しい



幅限まで省スペースにこだわった、まさにミニマムなコートスタンド。でもストラップは革というこだわりが美しい。マガジンラックはハンガーを再利用。"最小限"をいろんな角度からとらえている木製家具に思わずため息

### Profile

## 遠藤 慎也

インテリアスタイリスト



1984年生まれ。生活や空間を表現するインテリアスタイリスト。インテリア誌、ライフスタイル誌のスタイリングをメインに、ショップのディスプレイや展示会のコーディネートなども活躍中。年代やテイストを合わせすぎず、あえてズラしたり崩したりして自分流にしているのが遠藤さんのスタイル。お気に入りの映画は「ブルース・ブラザーズ」で、趣味は旅先や友人からのお土産でスノードームを集めること。

## 自分の空間や"とある空間"をイメージ

「ひたすらにキレイを提案するだけでは、実際のマイルームに置き換えることはできませんからな」。物欲王を自負するインテリアスタイリストの遠藤慎也さんと作った、読者の物欲を刺激するためのショップとグラフィックページ。広義のインテリアに対するジ・アンサーを、今回は"人が生きることを楽しむためのもの"としたページたち。それによって、好きになってこだわることによって好きなものを部屋に置いて、好きなものに囲まれていく時間が増えて、人生を楽しむ生活になるという方程式が導き

出されることになる。紹介するショップは、プロユーザーが「COMPLEX」からオモシロイ審美眼が光る「reism」にまで幅広いセレクト。「この店がいいな」を見つけるのは、"クルーズするようにいろんなショップを巡る楽しさ"を提案に体感していただけたらと思う。ここに掲載されるのは、提案に置いていない、ただの高級店ではない。手に取って確かめることができるインテリアショップだ。自分の生活や趣味の何かがあるショップとページなのである。

### ショップブランド

## REISM



"Plain"と名付けられたこの部屋は、「REISM」のリノベーション賞賞シリーズのひとつ。プレートが落ち着いたブルーの壁、パイン材のフローリング、コンクリートの質感が魅力的。飾り棚やビクチャーレールも嬉しい



"Brick"と名付けられたこの部屋は、海外で倉庫暮らしをするアーティストの住まいのよう。コンクリートの壁と、アンティーク加工のブリックタイルの壁がどちらも楽しめる。スモーク色味のオーク材の床もポイント

### Shoplist

- ACME Furniture 渋谷店 東京都渋谷区神南1-20-13Gビル渋谷01 B1F-1F ☎03-5728-5355
- Couscous Furniture 東京都渋谷区宮ヶ谷2-6-1メゾンクレール1F ☎03-3460-2530
- COMPLEX 東京都目黒区三田2-10-35中銀目黒マンション1F ☎03-3760-0111
- The Tastemakers & Co 東京都港区南青山7-9-1 ☎03-5466-6656
- Journal standard Furniture 渋谷店 東京都渋谷区神宮前6-19-13 B1F-1F ☎03-6419-1350
- SEMPRE HONTEN 東京都目黒区大橋2-16-26 ☎03-6407-9081
- NOTEWORKS 東京都世田谷区若林2-31-12サンクレスト若林103 ☎03-6450-7392
- PACIFIC FURNITURE SERVICE 東京都渋谷区恵比寿南1-20-4 ☎03-3710-9865
- PUEBCO 東京都世田谷区太子堂1-4-26 2F ☎050-3452-6766